

---

## 1 (月)

しよくじ あと さかずき おな い さかずき  
食事の後、杯も同じようにして言われた。「この杯は、あなたがたのため  
なが ち あたら けいやく  
に流される、わたしの血による、新しい契約です。

ルカ22:20

---

## 2 (火)

かれ い くる う まえ  
イエスは彼らに言われた。「わたしは、苦しみを受ける前に、あなたがたと  
いっしょ すぎこし しよくじ せつ ねが  
一緒にこの過越の食事をするを、切に願っていました。

ルカ22:15

---

## 3 (水)

と かんしゃ いの あと さ てし あた  
それからパンを取り、感謝の祈りをささげた後これを裂き、弟子たちに与え  
て言われた。「これは、あなたがたのために与えられる、わたしのからだで  
おぼ おこな  
す。わたしを覚えて、これを行いなさい。」

ルカ22:19

---

## 4 (木)

さかずき と かんしゃ いの あと い かれ あた  
また、杯を取り、感謝の祈りをささげた後、こう言って彼らにお与えになっ  
た。「みな、この杯から飲みなさい。これは多くの人のために、罪の赦しの  
なが けいやく ち  
ために流される、わたしの契約の血です。

マタイ26:27-28

---

---

5 (金)

もし同じだとしたら、<sup>おな</sup>世界の<sup>せかい</sup>基<sup>もと</sup>が<sup>す</sup>据えられたときから、<sup>なんど</sup>何度も<sup>くなん</sup>苦難<sup>う</sup>を受けなければならなかったでしょう。しかし<sup>いま</sup>今、キリストはただ一度だけ、<sup>いちど</sup>世<sup>よ</sup>の<sup>お</sup>終わりに、<sup>じぶん</sup>ご自分を<sup>つみ</sup>いけにえとして<sup>と</sup>罪<sup>の</sup>を取り除くために<sup>あらわ</sup>現れていただきました。

ヘブル9:26

---

6 (土)

まして、キリストが<sup>きず</sup>傷のない<sup>じぶん</sup>ご自分を、とこしえの<sup>みたま</sup>御霊<sup>かみ</sup>によって<sup>ささ</sup>神にお<sup>ささ</sup>献げになったその<sup>ち</sup>血は、どれだけ<sup>わたし</sup>私たちの<sup>りょうしん</sup>良心を<sup>し</sup>きよめて<sup>おこな</sup>死んだ<sup>はな</sup>行いから離れさせ、<sup>い</sup>生ける<sup>かみ</sup>神に<sup>つか</sup>仕える<sup>もの</sup>者<sup>もの</sup>にすることでしょうか。

ヘブル9:14

---

---

## 7 (日)

このキリストにあって、<sup>わたし</sup>私たちはその<sup>ち</sup>血による<sup>あがな</sup>贖い、<sup>そむ</sup>背きの<sup>つみ</sup>罪の<sup>ゆる</sup>赦しを受け  
ています。これは<sup>かみ</sup>神の<sup>ゆた</sup>豊かな<sup>めぐ</sup>恵みによることです。

エペソ1:7

---

## 8 (月)

「<sup>ちち</sup>父よ、みこころなら、この<sup>さかずき</sup>杯をわたしから<sup>と</sup>取り<sup>さ</sup>去ってください。しかし、わた  
しの<sup>ねが</sup>願いではなく、みこころがなりますように。」

ルカ22:42

---

## 9 (火)

そのとき、イエスは彼らに言われた。「わたしは<sup>かな</sup>悲しみの<sup>し</sup>あまり死ぬほどで  
す。ここにいて、わたしと<sup>いっしょ</sup>一緒に<sup>め</sup>目を<sup>さ</sup>覚ましていなさい。」

マタイ26:38

---

## 10(水)

それから、イエスは<sup>で</sup>弟子たちの<sup>もど</sup>ところに<sup>かれ</sup>戻って来て、<sup>ねむ</sup>彼らが眠っているのを  
見、<sup>い</sup>ペテロに言われた。「<sup>いちじかん</sup>あなたがたはこのように、一時間でも、わたしと  
もに<sup>め</sup>目を<sup>さ</sup>覚ましていられなかったのですか。<sup>ゆうわく</sup>誘惑に<sup>おちい</sup>陥らないように、<sup>め</sup>目を<sup>さ</sup>覚  
まして<sup>いの</sup>祈っていなさい。<sup>れい</sup>霊は燃えていても<sup>にく</sup>肉は<sup>よわ</sup>弱いのです。」

マタイ26:40-41

---

## 11 (木)

イエスは再び二度目に離れて行って、「わが父よ。わたしが飲まなければこの杯が過ぎ去らないのであれば、あなたのみこころがなりますように」といのちの祈られた。

マタイ26:42

---

## 12 (金)

イエスは、彼らを残して再び離れて行き、もう一度同じことばで三度目のいのちの祈りをされた。それから、イエスは弟子たちのところに来て言われた。「まだ眠って休んでいるのですか。見なさい。時が来ました。人の子は罪人たちの手に渡されます。

マタイ26:44-45

---

## 13 (土)

それとも、わたしが父にお願いして、十二軍団よりも多くの御使いを、今すぐわたしの配下に置いていただくことが、できないと思うのですか。しかし、それでは、こうならなければならないと書いてある聖書が、どのようにして成就するのでしょうか。」

マタイ26:53-54

---

---

## 14 (日)

キリストは、<sup>いま</sup>今の<sup>あく</sup>悪の<sup>じだい</sup>時代から<sup>わたし</sup>私<sup>すく</sup>たちを<sup>だ</sup>救い出すために、<sup>わたし</sup>私<sup>つみ</sup>たちの<sup>つみ</sup>罪のため<sup>じぶん</sup>にご<sup>あた</sup>自分<sup>わたし</sup>を<sup>ちち</sup>与えて<sup>かみ</sup>くださいました。私<sup>わたし</sup>たちの<sup>ちち</sup>父である<sup>かみ</sup>神のみ<sup>こころ</sup>こころに<sup>した</sup>が<sup>った</sup>のです。

ガラテヤ1:4

---

## 15 (月)

キリストは<sup>つみ</sup>罪<sup>おか</sup>を<sup>か</sup>犯<sup>した</sup>ことがなく、その<sup>くち</sup>口には<sup>あざむ</sup>欺<sup>き</sup>きも<sup>な</sup>な<sup>か</sup>かった。

I ペテロ2:22

---

## 16 (火)

しかし、イエスは<sup>だま</sup>黙<sup>っ</sup>て<sup>お</sup>ら<sup>れ</sup>た。そこで<sup>だいさいし</sup>大<sup>い</sup>祭<sup>い</sup>司<sup>は</sup>は<sup>わたし</sup>私<sup>い</sup>に<sup>い</sup>言<sup>っ</sup>た。「<sup>わたし</sup>私<sup>い</sup>は<sup>い</sup>生<sup>か</sup>ける<sup>かみ</sup>神<sup>によ</sup>って<sup>お</sup>ま<sup>え</sup>え<sup>に</sup>命<sup>めい</sup>じ<sup>る</sup>。お<sup>ま</sup>ま<sup>え</sup>え<sup>は</sup>神<sup>の</sup>子<sup>かみ</sup>キ<sup>こ</sup>リ<sup>こ</sup>ス<sup>ト</sup>ト<sup>な</sup>の<sup>か</sup>の<sup>か</sup>、<sup>こた</sup>答<sup>え</sup>え<sup>よ</sup>。」<sup>い</sup>イエ<sup>は</sup>ス<sup>は</sup>彼<sup>かれ</sup>に<sup>い</sup>言<sup>わ</sup>れ<sup>た</sup>。「<sup>い</sup>あ<sup>な</sup>た<sup>が</sup>言<sup>っ</sup>た<sup>と</sup>お<sup>り</sup>で<sup>す</sup>。し<sup>か</sup>し<sup>、</sup>わ<sup>た</sup>し<sup>は</sup>あ<sup>な</sup>た<sup>が</sup>た<sup>に</sup>言<sup>い</sup>ま<sup>す</sup>。あ<sup>な</sup>た<sup>が</sup>た<sup>は</sup>今<sup>いま</sup>から<sup>の</sup>ち<sup>ひ</sup>と<sup>こ</sup>こ<sup>ち</sup>ら<sup>か</sup>た<sup>み</sup>ぎ<sup>ざ</sup>に<sup>つ</sup>着<sup>き</sup>、そ<sup>し</sup>て<sup>てん</sup>天<sup>くも</sup>の<sup>く</sup>雲<sup>み</sup>と<sup>と</sup>も<sup>に</sup>来<sup>る</sup>の<sup>を</sup>見<sup>る</sup>こ<sup>と</sup>に<sup>な</sup>り<sup>ま</sup>す。」

マタイ26:63-64

---

---

## 17 (水)

それで、人々が集まったとき、ピラトは言った。「おまえたちはだれを釈放してほしいのか。バラバ・イエスか、それともキリストと呼ばれているイエスか。」  
ピラトは、彼らがねたみからイエスを引き渡したことを知っていたのである。

マタイ27:17-18

---

## 18 (木)

ピラトは言った。「あの人がどんな悪いことをしたのか。」しかし、彼らはますます激しく叫び続けた。「十字架につけろ。」

マタイ27:23

---

## 19 (金)

あなたがたが知っているとおりに、キリストは罪を取り除くために現れたのであり、この方のうちに罪はありません。

Iヨハネ3:5

---

## 20 (土)

神は、罪を知らない方を私たちのために罪とされました。それは、私たちがこの方において神の義となるためです。

IIコリント5:21

---

---

## 21 (日)

「キリスト・イエスは罪人を救うために世に来られた」ということは**真実**であり、そのまま受け入れるに**値**するものです。私はその罪人の**かしら**です。

I テモテ1:15

---

## 22 (月)

キリストは自ら十字架の上で、私たちの罪をその身に**負**われた。それは、私たちが罪を離れ、義のために生きるため。その打ち傷のゆえに、あなたがたは癒やされた。

I ペテロ2:24

---

## 23 (火)

そのとき、イエスはこう言われた。「父よ、彼らをお赦してください。彼らは、自分が何をしているのかが分かっていないのです。」彼らはイエスの衣を分けるために、くじを引いた。

ルカ23:34

---

## 24 (水)

そして言った。「イエス様。あなたが御国に入られるときには、私を思い出してください。」イエスは彼に言われた。「まことに、あなたに言います。あなたは今日、わたしとともに**パラダイス**にいます。」

ルカ23:42-43

---

25 (木)

イエスは大声で叫ばれた。「父よ、わたしの霊をあなたの御手にゆだねま

す。」こう言って、息を引き取られた。百人隊長はこの出来事を見て、神をほ

めたたえ、「本当にこの方は正しい人であった」と言った。

ルカ23:46-47

---

26 (金)

それゆえ、わたしは多くの人を彼に分け与え、彼は強者たちを戦勝品として

分かち取る。彼が自分のいのちを死に明け渡し、背いた者たちとともに数え

られたからである。彼は多くの人々の罪を負い、背いた者たちのために、とり  
なしをする。」

イザヤ53:12

---

27 (土)

したがってイエスは、いつも生きていて、彼らのためにとりなしをしておられ

るので、ご自分によって神に近づく人々を完全に救うことができになります。

ヘブル7:25

---



---

28 (日)

かみ じつ 神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御

こ しん もの ひどり ぼろ へい えん 子<sup>こ</sup>を信<sup>しん</sup>じる者<sup>もの</sup>が、一<sup>ひとり</sup>人として滅<sup>ぼろ</sup>びることなく、永<sup>えい</sup>遠<sup>えん</sup>のいのちを持<sup>も</sup>つためである。

ヨハネ3:16

---

29~31日分の聖書箇所は  
来月に掲載します。